

武蔵野市の

生きもの観察のポイント

実のなる木

木々になる実は、花の少ない季節に彩りを添えてくれ、私たちの目を楽しませてくれます。

5～6月に直径5mm程の小さな白い花をつけ、9～10月には赤い果実をつけるガマズミ、茶色く塩味を感じるヌルテ、熟すと着色になるクサギなども見られます。



境山野緑地 ほか



ガマズミ
(上) ガマズミの実
(下) ガマズミの花



オオシオカラトンボ

水辺で見られる生きもの

学校や公園の一部に整備されているビオトープや千川上水、仙川、玉川上水等の用水路など、市内の水辺では多くの生きものを観察することができます。

スイスイと水面をすべるアメンボ、水辺の草の茎にとまり近くを飛ぶ小さな昆虫を捕らえては元の場所に戻るオオシオカラトンボなどのトンボ類が見られます。

グリーンパーク緑地、市民の森公園 ほか

飛翔する昆虫

森林内を好み、林縁部でよく見られ、開けた場所に出てくることが少ないクロアゲハは、仙川緑地をはじめ、武蔵野総合体育館周辺、都立井の頭恩賜公園、御殿山など樹林環境でよく見られます。

その他、春から秋にかけて池の周りや川の縁で見られるシオカラトンボや、3～11月ごろに出現するナミテントウ、「ジリジリジリ」と鳴くアブラゼミなども見られます。

仙川緑地 ほか



クロアゲハ

まちなかでもよく見られる鳥

市内では、スズメやハトなど人の住んでいるところで生活する鳥だけでなく、様々な鳥に出会うことができます。

名前の由来となっている、眼の周りが白く輪になっているメジロ、ホーホケキョ、ケキョケキョ…と鳴き方に特徴のあるウグイスなどが多く確認されています。

しかし、環境の変化により、確認される数が減っていたり、確認される時期に変化が見られている種類もあります。



メジロ



しゃじりん
社寺林

社寺林の多くは、神社や参道などを囲むように守られており、都市に残された樹林として、また生きものすみかとして重要な役割を果たしています。

地域により、社寺林を構成する樹木の種類は異なりますが、市内ではイヌシデ、タブノキ、シラカシ、スタジイが多く確認されています。



イヌシデ
(左) イヌシデの樹皮
(右) イヌシデの果穂

杵築大社 ほか

様々などんぐりが見られる雑木林

雑木林は、色々な落葉広葉樹が混ざって生えている林のことです。市内にも数カ所残っています。雑木林では、秋になる様々などんぐりをみつけることができ、日本では20種類ほどが確認されています。帽子（殻斗）や実の形など、どんぐりの特徴から樹木の種類を調べることができます。



クヌギ 若い実
＊どんぐりの中でも大きくて丸太した実にいががした殻斗が特徴

武蔵野総合体育館周辺 ほか

雑草と呼ばれ、よく見る野草

人々の意図に関わらずに生えている植物を雑草と呼んでおり、庭の草取りや掃除の際に抜き取られてしまうことがあります。しかし、よく観察するとかわいい花を咲かせていたり、小さな実をつけていたり、四季を感じ取ることができます。私たちを楽しませてくれます。

吉祥寺北町5丁目、千川上水 ほか



キンミズヒキ



ヘビイチゴ
(上) ヘビイチゴの実
(下) ヘビイチゴの花



イヌタデ
(上) イヌタデの花
(下) イヌタデ全体

歩道沿いの生垣

生垣は、塀の役割として目隠しに用いられていますが、ブロック塀と異なり、生きものすみかや移動時の回廊となっています。また、趣ある景観を生みだしたり、防音、防風、大気浄化などに広く役立っています。

成蹊学園周辺 ほか



＊吉祥寺北町3丁目周辺
平成22年度
第4回調査会の様子

限られた季節に見られる鳥

日本に渡ってくる渡り鳥は、ツバメなどの夏鳥、コガモなどの冬鳥、春や秋などの季節に日本に短期間滞在する旅鳥と、見られる時期によって分けことができます。

ツバメは、市内で春になると人家の軒先や屋根付き駐車場などに巣を作り、ヒナを育てている姿を見ることができます



ツバメ
(上) 成体のツバメ
(下) ツバメの巣



見過ごしがちなほ乳類

ベット以外のほ乳類は、夜間～早朝に活動をしていたり、地上にあまり出てこないなど、見つけづらいことが多いので、観察にはポイントがあります。

日没近くから夜間に、公園の上空や駅の街灯のまわりでパタパタと飛びアブラコウモリ、土中のミズズミや昆虫、植物の種などを食べるためにトンネルを掘り、そのモグラ塚が目印となるアズマモグラなどは、市内でも多く確認されています。



都立井の頭自然文化園周辺、都立井の頭恩賜公園 ほか

水辺でみられる野鳥

野鳥は、昆虫などと違い、近寄ると逃げてしまうことが多く、比較的観察が難しいと言えます。

そこで、双眼鏡などを用いるとくちばしや足、尾羽の形などそれぞれの特徴を見ることができます。

都立井の頭恩賜公園の池のほとりなどには、1年を通じて見ることができるカルガモや、体の色が美しいカワセミなどがいます。



カルガモ



カワセミ

※このマップは平成22年度に実施した生きもの調査の調査結果を参考に作成しました。

凡例

- 樹林環境
- 並木環境
- 大木・シンボルツリー
- 公園環境
- 農地環境
- 宅地・庭先
- 水辺環境
- ビオトープ
- 行政界
- 町丁目界

